# Red Hat で VM の移行と運用を自動化

## エンタープライズのニーズに合わせて構築された自動化プラットフォームを選択

「Red Hat Ansible Automation Platform を検討すべきです。これは自動化の成熟を加速し、エンタープライズ規模の複数のアップストリーム・コミュニティ・プロジェクトを導入するための包括的な機能と幅広いサポートを提供します。幅広く採用されていること、成長率が非常に高いこと、オープンスタンダードをサポートしていることから、企業は自信を持って Ansible Automation Platform を選択できます」

- IDC Marketscape からの引用[1]

## 不確実な時代に高い信頼性で仮想化を自動化

仮想化分野の変化により、多くの企業では IT 戦略が混乱しており、従来の仮想化テクノロジーへの依存度を軽減しようとしている企業もあります。

Red Hat® OpenShift® Virtualization と Red Hat Ansible® Automation Platform を組み合わせることで、企業の仮想マシン (VM) を従来の仮想化テクノロジーから、管理を単純化するとともにアプリケーションとインフラストラクチャのモダナイゼーションへの道筋を提供するプラットフォームへと、アプリケーションをリファクタリングすることなく迅速に移行することができます。

OpenShift Virtualization (セルフマネージドの Red Hat OpenShift および AWS 上の Red Hat OpenShift Service に含まれる Red Hat OpenShift の機能) は、コンテナ化されたワークロードとともに VM をサポートする統合ハイブリッドクラウド・アプリケーション・プラットフォームを提供します。お客様は既存の仮想化への投資を維持できます。

OpenShift Virtualization は、ワークロード管理を単純化すると同時に、オンプレミス、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境、さらにはネットワークエッジに至るまで、IT エコシステム全体にわたって一貫性を実現します。

広範囲にわたるエンドツーエンドの自動化の構築、デプロイ、管理に必要なツールがすべて含まれている Ansible Automation Platform と併用することで、組織は VM の移行を加速できるだけでなく、人的エラーの可能性を減らし、移行および継続的な VM ワークロード管理全体の一貫性を向上させることができます。

## 移行から Day 2 オペレーション以降も VM をサポート

OpenShift Virtualization がコンピューティング機能とストレージ機能を提供し、Ansible Automation Platform が VM と周囲の IT インフラストラクチャのオーケストレーションを自動化することで、組織は移行から Day 2 オペレーションに至るまで、そして IT およびビジネスニーズの変化に応じてその後も長期的に VM をサポートできます。

### 従来のテクノロジーから VM への移行を加速および拡張

従来、新しい環境への VM 移行のプロセスは手動で行われるものであり、各 VM は固有のワークロードとして扱われ、正常に移行するには多くの手順が必要です。そのため、多くの企業が運用している数千規模の VM にスケールアップする場合には、手作業の量が対応しきれないレベルへと急速に増加する可能性があります。

OpenShift Virtualization を通じて利用できる仮想化移行ツールキット (MTV) を、Ansible Automation Platform の Infrastructure as Code (IaC) または Configuration as Code (CaC) 手法と組み合わせて使用することで、前処理および後処理のニーズに対処しながら、通常の反復的で時間のかかる手動タスクを、自動化されたワークフロー (すべての既存および交換用ハードウェア、ネットワーク、VM イントロスペクション、クラスタのデプロイなどのインベントリ作成など) に置き換えることができます。

1 IDC Marketscape、「2024 年 IDC Marketscape：Worldwide Multicloud and Hybrid Cloud Management with Automation のベンダー評価」、Document #USUS52084624、2024 年 5 月。

## 高度な自動化機能で効率的に一貫して自動化

**Event-Driven Ansible：**
VM がプロビジョニングされるたびに特定のジョブテンプレートに合わせて VM の詳細を自動的に構成します。また、ITSM との統合により、Ansible Automation Platform に含まれるイベント駆動型の自動化機能でチケットの作成と必要な修復を自動化します。

**Ansible Lightspeed：**
Ansible Automation Platform に含まれる生成人工知能 (生成 AI) 機能で、自然言語プロンプトから自動化コードを生成し、自動化コンテンツをより効率的に作成、導入、維持できます。

**Ansible Policy as Code：**
Ansible Automation Platform で利用できる自動化された Policy as Code (PaC) 機能を使用することで、自動化の作成時でも使用時でも、内外から要求されるポリシーをより効率的に適用できます。

### VM と既存の IT インフラストラクチャをオーケストレーション

従来のインフラストラクチャ、クラウドネイティブ・インフラストラクチャ、仮想インフラストラクチャを統合することで、IT の柔軟性とアプリケーションの革新性を高める機会が得られますが、適切な自動化機能を使わずに実行すると、過度に複雑な IT 環境が作成される可能性もあります。

このようなハイブリッド IT 環境を調整および管理する IT 自動化の「接着剤」として Ansible Automation Platform を使用すれば、管理の複雑さが大幅に軽減され、また、ネットワーク、クラウドサービス、データベースサービス、IT サービス管理 (ITSM) ツールなどの重要な IT コンポーネントと VM のオーケストレーションを自動化できます。

### IT 環境全体で Day 2 オペレーションを自動化

OpenShift Virtualization への移行後も、組織は Linux® および Windows VM の Day 2 オペレーション (コンプライアンス、パッチ適用、構成管理を含む) を効率的に一貫して管理する必要があります。また、自動化された方法で、インフラストラクチャの可視化、運用、自動トラブルシューティングをサポートするクラウドネイティブ・アプリケーションと仮想化アプリケーションの両方にアクセスする必要もあります。

Ansible Automation Platform と OpenShift Virtualization を組み合わせることで、VM ライフサイクル全体の管理に役立つ多くの Day 2 タスクを自動化できます。これには、VM とリソース (メモリー、ストレージ、vCPU 割り当て、ネットワークアダプター設定、移行、タグなど) のプロビジョニングとデプロビジョニング、エージェントのインストールと削除、オペレーティングシステムとアプリケーションのパッチ適用、ビジネス継続性などが含まれます。

## 先進的な仮想化への一歩を踏み出す

OpenShift Virtualization と Ansible Automation Platform を使用した VM の移行、管理、スケーリングの詳細は、こちらの動画プレイリストを参照してください。

開発者サンドボックスで実際に体験するには、Red Hat Developer Hub にアクセスしてください。

Red Hat のポートフォリオは既存の仮想化への投資をサポートし、モダナイゼーションへの道筋を提供します。詳細は今すぐ Red Hat にお問い合わせください。

**Red Hat について**

Red Hat は、受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

**アジア太平洋**
+65 6490 4200
apac@redhat.com

**オーストラリア**
1 800 733 428

**インド**
+91 22 3987 8888

**インドネシア**
001 803 440 224

**日本**
03 4590 7472

**韓国**
080 708 0880

**マレーシア**
1 800 812 678

**ニュージーランド**
0800 450 503

**シンガポール**
800 448 1430

**中国**
800 810 2100

**香港**
800 901 222

**台湾**
0800 666 052

fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

Copyright © 2024 Red Hat, Inc. Red Hat、Red Hat ロゴ、OpenShift、および Ansible は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。